

科学技術政策担当大臣等政務三役と  
総合科学技術・イノベーション会議有識者議員との会合  
議事概要

- 日 時 平成27年4月16日（木）9：27～9：49
- 場 所 中央合同庁舎8号館 4階416会議室
- 出席者 山口大臣、松本政務官、原山議員、久間議員、  
内山田議員、小谷議員、中西議員、橋本議員、平野議員  
阪本内閣府審議官、森本統括官、中西審議官、中川審議官、松本審議官  
宇宙開発戦略本部事務局 小宮事務局長代理、内丸参事官

○議事概要

○原山議員 ここからは科学技術政策担当大臣等政務三役と総合科学技術・イノベーション会議有識者議員との会合に入らせていただきます。

本日は、平副大臣と大西さんが御欠席ということでございます。

中身なのですが、本日は議題が一つ、宇宙開発戦略本部における取組状況ということで、公開とさせていただきますが、よろしいでしょうか。

では、プレス、お願いいたします。

おはようございます。

（プレス入室）

○原山議員 現在、本当にだんだん熱くなってまいりました第5期基本計画の準備中ですが、その中で世界的な動向、またさまざまな取組、各省庁、関係機関の方々と意見交換をさせていただいております。

これまでも健康・医療戦略推進本部、総合海洋政策本部から御説明いただきましたが、本日は宇宙ということで、宇宙開発戦略本部から現在の検討状況について御説明していただくということになっております。

今、いらっしゃいますので。いらっしゃいました。すみません、どうぞ。イントロのほうはもう既にさせていただいておりますので。おはようございます。すみません。数分早いところで申しわけございません。ただいま御到着になると思います。

すみません。お忙しい中、ありがとうございます。ちょっとイントロさせていただいておりまして、本日は、宇宙開発戦略本部における取組ということで御説明いただくということでございます。御説明は小宮宇宙開発戦略本部事務局長代理からお願いいたしまして、9時半から9時50分までということでございますので、手短かにプレゼンしていただいて、議論させていただければと思います。よろしくお願いいたします。

<宇宙開発戦略本部事務局 小宮事務局長代理より説明>

○原山議員 ありがとうございます。ここから質疑応答とさせていただきます。

御質問、コメントございましたら。橋本さん。

○橋本議員 知識がないので教えてください。予算的な枠組みはどのようになるのでしょうか。施策が各省にまたがっていますが、文科省に入っているものは、科学技術関係予算の中に入るのででしょうか。例えば総務省に入っているものとか、その予算の枠組みを教えてくださいませんか。

○小宮事務局長代理 基本的に予算の枠組みは各省が予算要求しておりますので、文科省の衛星というのは、基本的に科学技術関係予算に分類されているのがほとんどだと思いますけれども、例えば内閣府で準天頂衛星の開発をやっておりますけれども、これは実用衛星ということで、これは入っていないという形になってございます。

○橋本議員 いろいろ分かれているのですね。そういう形ですね。

○原山議員 先ほどの3ページの組織図なのですが、主務大臣が文科省、総務省、経産省、内閣府ということで、頭が四つある組織ってなかなかハンドリングが難しいと思うのですが、どういう形でもってこれをスムーズに意思決定まで結びつけていくのでしょうか。

○小宮事務局長代理 まず先ほど申し上げたように、新たに経済産業省と内閣府が入った趣旨というのは、宇宙政策というものをもう少し出口の面から考えましょうということで、法改正がなされたわけでございます。

経済産業省は、この産業振興という観点から入り、内閣府は全ての省庁から出てくる宇宙の利用のニーズを踏まえてやっていくという形で入っております。それで実態上は、この4省庁、常に相談しながら進めておりますので、4省庁がばらばらになって、JAXAが非常に困るということはないというのが私の理解でございます。

○橋本議員 それに関連して、ここでは科学技術関係予算を扱うわけですが、その中で文科省の宇宙政策は全部関係してくるのですか。それ以外のものは、ここでの議論との関係はどうなるのでしょうか。

○内丸参事官 詳しく説明させていただきますと、先ほど例に出しました準天頂衛星もしくは防衛省が通信に使いますXバンド衛星とか、本当に実用の一部のものは外れておりますが、ほかのものはほとんど科学技術関係経費に入っております。また準天頂衛星につきましても、現在飛んでおります「みちびき」初号機とか、もしくは開発要因に係るものなんかは科学技術関係経費に入っておりますので、ぜひ科学技術関係経費の中でも応援していただければと考えております。

○橋本議員 今、年間どれぐらいの額が入っているのですか。例えば今年度予算で。

○小宮事務局長代理 約3,300億円です。そのうちの多分、目の子で4分の3は科学技術関係経費に分類されると思います。

○橋本議員 それはここで議論している中に入っていることになるのですね、全部。

○小宮事務局長代理 その議論している中に。

○橋本議員 ここで我々議論する中に入る話ですね。だから3,300の3分の2、2,000億。

○小宮事務局長代理 いや、4分の3は入ると思います。

○久間議員 宇宙政策の目的は安全保障と民生応用の二つに分けられると思うのですが、民生応用に関しては、海外への展開が必要と思います。その戦略はどこに書かれているのですか。

○小宮事務局長代理 5ページの一番右下のところに、宇宙システム海外展開タスクフォースというのがございまして、御案内のように宇宙システムというのは、衛星だけ打ち上げても全く意味がなくて、システム全体として海外に持っていくことが一番効果的でございますし、商業的には非常にもうかる形になります。

ところがこれは大体、途上国や産油国のいわば外国の官需を取りに行くという話でありますので、民間企業だけで行くよりは、官民が力を合わせて攻めていったほうが効果的であるという発想のもとに、このタスクフォースを立ち上げようとしているところでございます。

○久間議員 宇宙機器産業の事業規模で、官民合わせて10年間で5兆円と書かれております。10年間の累積が5兆円ということですね。これは宇宙機器に限るということで、衛星の利活用は含まないのですか。

○小宮事務局長代理 これは含みません。さらにもっとさらに大きな額が利活用では期待して

おります。

○久間議員 わかりました。

○原山議員 そのほか何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

ではここまでとさせていただきます。本当に本日はありがとうございました。

○小宮事務局長代理 どうもありがとうございました。

○原山議員 今後も引き続き意見交換させていただければと思います。ありがとうございました。

これをもちまして、本日の有識者会合を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上